

ミニサービス便り NO.3

12月21日(木) 小雨後曇り時々晴れ
参加者・利用者さん4名、民生委員さん2名、学生ボランティアさん1名

今回は、在宅福祉サービスについて卒論テーマの勉強のために当センターを訪問された学生さんがボランティアを申し出て下さいました。若い方の関心はとても嬉しいことです。

今回はクリスマスが近いこともあって皆でケーキのデコレーションをしました。

はじめて持つハンドミキサーで生クリーム作りに80代のお年寄りの目は真剣。振動でブルブル震える手もとを、スタッフが心配そうに「代わりましょうか」と言っても「いい」と言われる。ケーキ台にみかんを挟み生クリームをへらで塗りさらにクリームを絞り出していちごを飾り付ける。これには男性も参加。ローソクとサンタにモミの木を飾りローソクに明かりが灯ると「ワーッ」と思わず拍手がわいた。

「はじめてだがね、こんなこと」「おいしいねー、こうやって作るの」皆さんの好奇心は、とても旺盛でした。

午前中にもクリスマスの飾りにと、杉本憲吉画伯の真似をして紙皿に絵を書いてみてはと用具を揃えてみました。

右手が不自由な方はどうされるかと思っていたら、左手で黙々とクレヨンを運ばれ、その上に水彩をサーッとひとぬり。クリスマスのリースを前に「これがいいわ」と、さっさと書き出される方。

そうすると、他の方もつられて手が動く。

私たちは不遜にも、お年寄りに対して固定観念を持って接してしまっているようなことはないだろうか。

次回は平成8年1月18日(木)です



ご案内

愛知県医師会主催により、これからの保健・医療・福祉サービスの向上と連携促進に関するシンポジウムが下記の要領で開催されます。

当センターからも住民ボランティアの立場から会の報告をさせていただくことになっています。多数ご参加下さい。

テーマ
「在宅ケアにおけるサービスの質的向上と連携促進」

とき・平成8年1月20日(土)
午後2時～5時20分

ところ・愛知県医師会館9階大講堂

主催 まごころサービス尾張センター
日程 平成8年3月の十九日(火)二十一日(金)二十六日(火)
時間 午前10時～午後3時
内容 基礎的介護の講義と技術(シーツ及び寝間着交換・清拭・洗髪・排泄介助・痴呆について等)
講師 日本赤十字社愛知県支部
参加費 千円
会場 一宮スポーツ文化センター三階第五研修室

まごころサービス尾張センターでは、在宅でのケア活動を通して、高齢者介護の問題は今や女性だけのものではなく、男性の積極的な参加が必要な状況であることを痛感しています。そこで、このたび男性を対象とした介護講座を左記の要領で開催することになりました。ご参加をお待ちしています。

◆男性のための

介護講座開催

あけましておめでとーいーぞーいーます
本年もよろしくお願い申し上げます



◆大きな課題

| | |
|-----------|------|
| 11月会員登録状況 | |
| 協力会員 | 45人 |
| 利用会員 | 41人 |
| 賛助会員 | 113人 |
| 計 | 199人 |

| | |
|---------|---------|
| 11月活動状況 | |
| 活動件数 | 19件 |
| 活動人数 | 22人 |
| 活動時間 | 302.5時間 |

年末年始の時期を迎えるといつも思い知らされることがある。私達の活動は、本来年末年始などと言われるようなこととは関係なく、いつでも日常の暮らしの延長上になければならぬ。しかし残念ながら、私達は現在そういう状態にない。

先日、声も、せっぱつまった電話があった。声を聞いていただけで深刻さが伝わって来た。お年寄りのケア依頼ではなかったが、相当困っておられ、とにかく助けてほしいというのであった。

お話しを伺い手助けの必要を感じ、ケアに入ることにした。が、すぐに対応が出来なかった。コーデイネイトだけでは年内にさせてもらうことになったが、ケア開始は新年を待ってからのことになった。

しかし、彼女は好意でこういって下さった。「一約束下さっただけで安心して、気持ちが悪く落ち着きました。十分感謝していますから」と。今回のニーズに対応がすぐ出来なかった理由は、単に協力会員さんが不足しているという事ではなく、年末年始にケア出来る協働員さんが少ないという事。大きな原因だったといえる。

結局、私達自身の事情が優先し、相手の立場に立てなかったという事だ。対応したと思う。「出来る人があれば対応します」という消極的対応でいいのかどうかは、こういう場合の性格上意見が分かれるところではない。私達が解決しなくてはならない大きな課題である。